

高齢者実態調査及び介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における認知症に関する設問

資料 7-2

高齢者実態調査【本人調査】

問(前回調査時)	設問	質問内容	選択肢
問20(41)	認知症の認知度	あなたは「認知症」という病気を知っていますか。	1 原因となる病気や症状などについてだいたいわかる 2 言葉は聞いたことがあるが、原因となる病気や症状などについてはわからない 3 わからない
問21(43)	認知症の人の支援に必要なこと	あなたは、認知症の人の支援に必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)	1 認知症に関する相談窓口の充実 2 認知症の早期発見への取組み 3 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実 4 ご家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること 5 介護職員が行う認知症ケアの質の向上 6 認知症の人を介護するご家族に対する支援 7 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実 8 認知症の人自らが社会の中で役割を得て活動する場の確保 9 認知症の人やその家族が気軽に立ち寄ることができる集いの場(認知症カフェ等)の充実 10 認知症予防(認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにするという意味)に関する取組みの充実 11 その他 12 わからない
問26(53)	高齢者向け施設・事業の利用状況・意向	次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。 (〇は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ) なお、利用状況欄で「2 知っているが利用したことはない」「3 知らない」を選択された方は、利用(参加)意向欄もお答えください。	(表形式のため省略) ※選択肢に「認知症高齢者見守りメール」・「認知症高齢者位置情報探索事業(GPS)」あり
問29(57)	重点を置いてほしい高齢者施策	あなたは、高齢者のための施策としてどのような点に重点を置くべきだと思えますか。主なものに3つまで〇をつけてください。	1 健康づくり・介護予防の充実 2 生きがいづくり 3 就労支援 4 介護保険サービス(居宅サービス)の充実 5 介護保険サービス(施設サービス)の充実 6 介護保険外サービス(問53にある福祉サービスなど)の充実 7 認知症に関する施策の充実 8 在宅医療など地域での適正な医療提供体制の充実 9 虐待防止や本人の財産を守るなどの権利擁護 10 高齢者施策に関する情報の提供と相談 11 民生委員・町会などの地域の見守り、相談機能の充実 12 若い世代との交流を促進するしくみづくり 13 防災対策の充実(災害時において避難支援等が必要な方(避難行動要支援者)の支援対策) 14 公共交通機関のバリアフリー化の促進 15 公園や歩道、ベンチの設置など、安心して外出・休息できる場の整備 16 高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実 17 その他 18 特になし

高齢者実態調査【介護サービス利用者調査】【介護サービス未利用者調査】、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問(前回調査時)	設問	質問内容	選択肢
問31 (ニーズ調査 8)	認知症の症状の有無	認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか	1 はい 2 いいえ
問32 (ニーズ調査 8)	認知症に関する相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っていますか	1 はい 2 いいえ
問32-1 (本人調査 42改)	知っている認知症の相談窓口	【問32で「1. はい」の方のみ】 あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。(〇はいいくつでも)	1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科などの医療機関 3 認知症疾患医療センター 4 民生委員・町会などの地域役員 5 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 6 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者 7 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ) 8 認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」) 9 区役所・保健福祉センター 10 その他()
問33 (本人調査 42)	認知症について不安を感じるときの相談先	あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安を感じるときは、どちらに相談されますか。(〇はいいくつでも)	1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科などの医療機関 3 認知症疾患医療センター 4 民生委員・町会などの地域役員 5 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 6 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者 7 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ) 8 認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」) 9 区役所・保健福祉センター 10 どこに相談すればいいかわからない 11 その他()

高齢者実態調査【介護者調査】

問(前回調査時)	設問	質問内容	選択肢
問42(21)	本人の認知症の程度	ご本人の認知症の程度について、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)	1 全く認知症の症状がない 2 何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している 3 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる 4 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする 5 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする 6 激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする
問55(26)	相談窓口の利用状況	次の相談窓口等について、利用したことがありますか。(1)～(5)の相談窓口の利用状況について、あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)	(表形式のため省略) ※選択肢 (1) 区役所・保健福祉センター (2) 地域包括支援センター(総合相談窓口(ランチ)を含む) (3) おおさか介護サービス相談センター (4) 国民健康保険団体連合会 (5) 認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」)

高齢者実態調査【施設調査】

問(前回調査時)	設問	質問内容	選択肢
問13(12)	施設での認知症の人への対応における課題	施設での認知症の人への対応における課題について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	1. 職員の認知症についての理解や対応力が十分でない 2. 認知症の人への対応力を高めるための研修等に職員を参加させたいが、研修の機会が少なく難しい 3. 幻覚・妄想等の認知症の行動・心理症状のある人への対応が困難である 4. 認知症を治療する医療機関について、情報が少ない 5. がんや循環器疾患、大腿骨骨折などのほかの傷病(身体合併症)などがある認知症の人を受入れてくれる医療機関について、情報が少ない 6. 認知症に関連した相談ができる機関が少ない 7. 認知症の人の要介護度が上がったときに、受入れてくれる特養など介護施設が少ない 8. 認知症高齢者の対応と比べ、若年性認知症の人への対応が異なるため難しい 9. 認知症の人を受入れた際の介護報酬などが低い 10. 特に課題はない 11. その他

高齢者実態調査【介護支援専門員調査】

問(前回調査時)	設問	質問内容	選択肢
38(38)	認知症高齢者等へのケアプラン作成にあたっての困難	担当する認知症や障がい高齢者のケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていることはありますか。(〇はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> 1 独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいない 2 認知症の症状が急変したときの対応 3 病気をお持ちの家族への対応 4 家族等介護者との意見の相違 5 サービス事業者や後見人利用等の手続き 6 介護支援専門員やヘルパーなどサービス従事者への妄想、受け入れ拒否 7 医療機関への受診や服薬管理 8 金銭管理の援助 9 着替え、整髪、歯磨き、爪切りなどの清潔保持 10 徘徊・暴力・異食など行動障がいに対する対応 11 幻覚、妄想、うつなど行動・心理症状への対応 12 近隣住民からの苦情 13 その他 14 特になし
38-1(39)	認知症高齢者等へのケアプラン作成にかかる課題解決の対応	問38の課題解決のために、どのような対応をしていますか。(〇はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> 1 主治医からの助言を得る 2 地域包括支援センターへの相談や地域ケア会議への参加 3 認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」)へ相談 4 認知症地域支援推進員へ相談 5 認知症疾患医療センターへ相談 6 区役所への相談 7 サービス担当者会議での十分な意見調整 8 あんしんさぽーと事業や成年後見制度の利用 9 民生委員や地域組織の役員など近隣へ相談 10 本人宅に支援ノートを置くなどサービス事業者間での情報共有 11 障がい者制度関係機関 12 その他 13 特にしていない